

■九州朝日放送番組審議会議事概要（5月分）

第603回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成30年5月21日（月） 午後3時30分～4時35分
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 5名</p> <p><b>（出席委員）</b> 鶴 利絵 委員 池田 勝 委員 安恒 万記 委員 戸田 康一郎 委員 守田 有理子 委員</p> <p><b>（放送事業者側出席者名）</b> 代表取締役社長 和氣 靖 取締役 笹葉 哲朗 取締役総合編成局長 森 君夫 報道局長 臼井 賢一郎 ラジオ局長 穴井 建一 コンテンツ局制作部 プロデューサー 千葉 亮太郎 ケイ・ピーシー映像制作部 プロデューサー 谷村 和進</p> <p>番組審議会事務局長兼視聴者・広報室長 井上 千秋 番組審議会事務局員（視聴者・広報室） 松永 俊郎</p>
議題	<p><b>議 題</b> テレビ番組「とっっても健康らんど」 放送日時： ①2018年3月31日（土）午前11時25分～11時40分 第1000回「これからの外科医療」 ②2017年5月20日（土）午前11時25分～11時40分 第956回「血糖値スパイク」</p> <p><b>報告事項</b> 1. 平成29年度下期の番組種別の公表報告 2. 平成30年5月・6月 ラジオ・テレビ番組編成状況 3. 平成30年4月 視聴者・聴取者応答状況 4. 次回 平成30年6月度（第604回）審議会日程 6月19日（火）午後3時30分～開催 &lt;課題&gt; テレビ番組「まさか、私が～九州豪雨が遺したもの～」 放送日時：2018年5月25日（金）午前10時40分～11時35分 5. その他</p>
議事の概要	<p>◎委員の意見（概要）</p> <p>番組全体に対し委員からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○放送回数1000回を超える長寿番組であることには驚いた。土曜日の午前中という休日のリラックスした時間帯に15分の短時間で気軽に最新の医療情報を伝える番組コンセプトが視聴者のニーズに合致している証左だと思う。</li> <li>○医学的な根拠を説明した上で、すぐに実行可能な行動指標（キャッチフレーズ）を紹介する番組構成からは、一般視聴者にとっても日常生活ですぐに役立つ健康情報が提供されていると思った。</li> <li>○イメージ映像に制作スタッフが登場するなど、手作り感が気に入っている。「検査」は戻込みする方も多いと思うが、トライのコーナーでアナウンサーらが自ら最新の簡単な検査に挑む場面からは「日常生活を送りながら検査が可能なものもある」と視聴者に検査の敷居を下げさせる効果もあったと思った。</li> <li>○番組で紹介された診断結果の数値と直近の自らの健康診断の結果を比較して、自らの過信を戒める項目もあることが分かり、番組は視聴者にこうした確認行為を促す説得力のある内容だった。</li> </ul> <p>また、去年5月に放送された「血糖値スパイク」について委員からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「血糖値スパイク」という言葉は初めて聞いた。今回初めてこの言葉の意味するところ、糖尿病につながるリスクを理解することができた。</li> <li>○「痩せる」や「間食を控える」などといった糖尿病の一般的な対応に加えて、「食事の時には野菜を箸に食べる（ベジファースト・カーボラスト）」などの具体的な防止策まで提供されて非常に良かった。</li> </ul> <p>そして、「これからの外科医療」について委員からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アナウンサーがバブリカの種を使い最新機器を操作し、腹腔鏡手術を疑似体験する場面では画像技術の進歩が手術リスク低減に貢献していることがよく理解できた。腹腔鏡手術に対する不要な不安を取り除く効果もあり、視聴者にとって有益な情報だったと思う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの評価を頂きました。</p> <p>また、気になる点や望むこととして、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「血糖値スパイク」がなぜ重大な疾病の原因につながるのか説明が十分ではなく、最低限の説明をしなければ説得力に欠けるのではないかと思った。</li> <li>○そもそものコンセプトは「血糖値スパイク」だったのに、肥満の人の糖尿病の発症率を低下させるデータが示されるなど、糖尿病対策の文脈で語られていた場面では若干の戸惑いを感じた。</li> <li>○番組の最後に「次回のテーマは○○です」と次回テーマが紹介されるができれば向こう1か月ほど少し先のテーマも紹介すれば、毎週番組を見ているわけではない人も自分の関心があるテーマが放送される日が分かり、視聴者が増えるのではないかと思った。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの批評や提言を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「血糖値スパイク」の放送では、途中で糖尿病の話になったというご指摘について、基本的には同じようなメカニズムで発症する病気であるために結果として糖尿病と話が混ざったところがあったと考えている。</li> <li>○最新医療の現場では4K映像や8K映像なども開発が進んでいる。過去の内視鏡検査の映像と比較すれば、20年間の医療の進歩を視聴者に分かりやすくお伝えできると思い、放送1000回目の放送では「これからの外科医療」をテーマに選んだ。</li> <li>○今後の放送予定をまとめて紹介してはどうかという指摘については、まれに放送の順番が変わるなどあるかもしれないが、今後の放送予定として組み込んでいくことは十分に可能かと思っている。</li> <li>○ご出演の医師が専門用語を使用した場合、いったん撮影を止めて軌道修正をする場合もあるが、医師の話すリズムもある。どうしても専門用語が入った場合はテロップでフォローをするなどしている。</li> <li>○医療を扱う番組のチェック体制として、取材から編集を行い、通常であればナレーションを加えるが、その前に全編を通して先生がインタビューでお話になった部分も含めて文章におこし、それに対する先生の回答を待たううえでナレーションを入れている。改めて先生にご確認を頂いたうえで、誤った案内がないよう配慮をしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの説明をしました。</p>